

寒さ厳しい冬

水道管の凍結・破裂にご注意を

問い合わせ 上下水道局工務課 ☎21192

水道管の凍結の季節

2月はまだまだ寒く、水道管の凍結や破裂に注意が必要な季節です。

瀬戸内海に面し、比較的温暖な本市でも毎年のように水道管の凍結や破裂事故が発生します。気象情報などには十分注意してください。

凍結で水道管が破裂すると、修理に費用がかかるだけでなく、漏水により多量の水が無駄になります。

また、旅行などで長期間留守にする場合や所有する家屋が空き家の場合は注意してください。特に空き家の場合は、屋内で凍結・破裂し、長期間、漏水に気付かなかったケースもあります。

事前の対策と点検を

水道管の中の水は気温がマイナス4℃（風当たりの強い場所ではマイナス1℃）程度以下で凍結するとされています。特に、屋外にある蛇口や給湯器、むき出しの水道管は凍結しやすいので保温材の取り付け、ごく少量の水を出しておくなど、事前の対策をしてください。また、保温材が古くなって

いたり隙間が空いていたりすると効果が低下しますので点検をお勧めします。

解凍はぬるま湯で

凍結して水が出なくなったときは、気温が上がりが溶けるのを待つか、凍結部分にタオルや布などをかぶせ、ぬるま湯をかけてゆっくり溶かしてください。熱湯をかけると破裂する恐れがあるので、けつして行わないでください。

元栓（止水栓）の確認を

凍結で水道管が破裂したときは、水道の元栓（止水栓）を閉めて市指定給水装置工事業者に修理を依頼（自己負担）してください。また、万一のときのため、あらかじめ元栓（止水栓）の位置（おおむねメーターボックスの中またはその付近）と、水が止まることを確認しておいてください。古いタイプの止水栓は、パッキンの摩耗により水が止まらないことがありますので、その場合は市指定給水装置工事業者で修理または取り換えてください。（自己負担）

環境のはなし No.5

数値でみる環境【大気編】

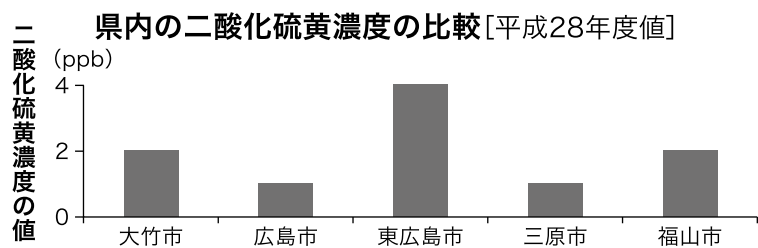
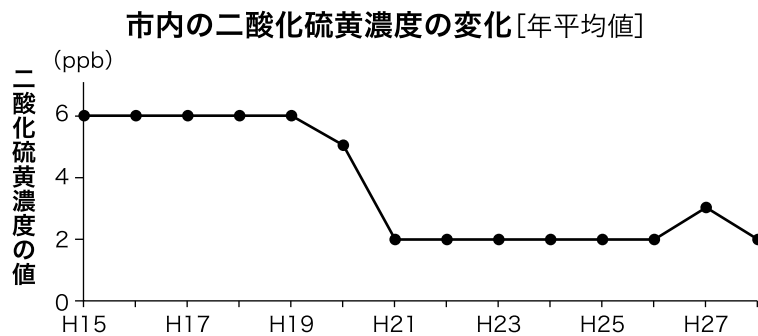
問い合わせ 環境整備課 ☎2154



二酸化硫黄、二酸化窒素は、環境省が定めた基準値を下回っています。（降下ばいじんの環境基準は定められていません）

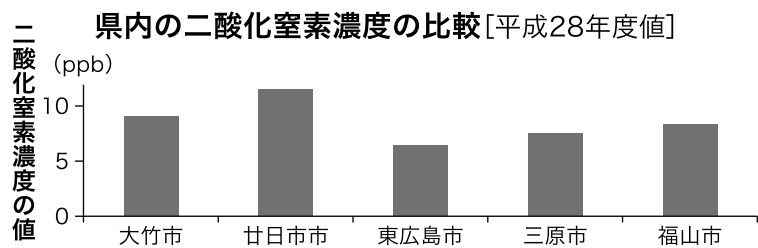
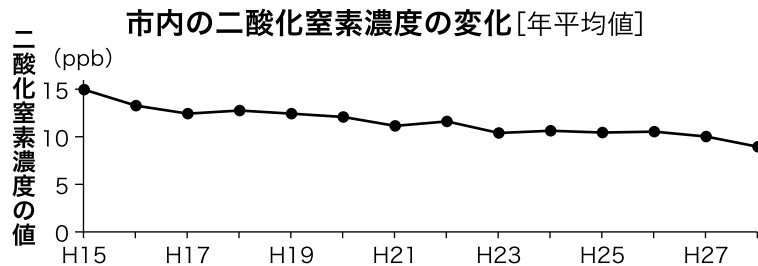
二酸化硫黄

過去には、工場などから多量に排出されていた時期もありましたが、事業者などの努力で大きく改善されています。



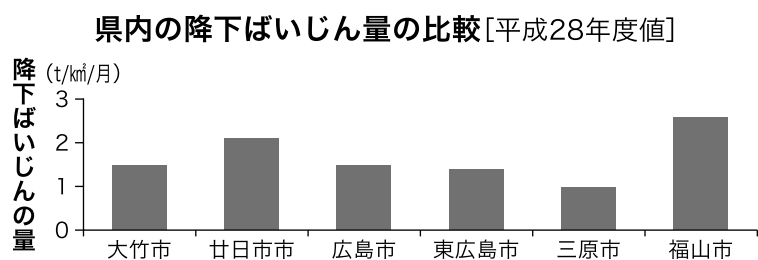
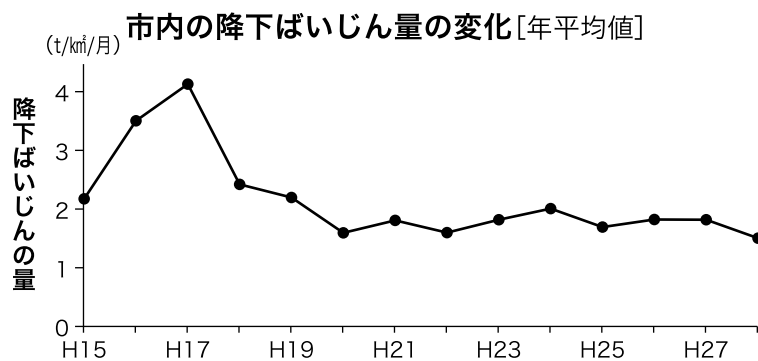
二酸化窒素

自動車の排出ガス規制などにより年々減少しています。



降下ばいじん

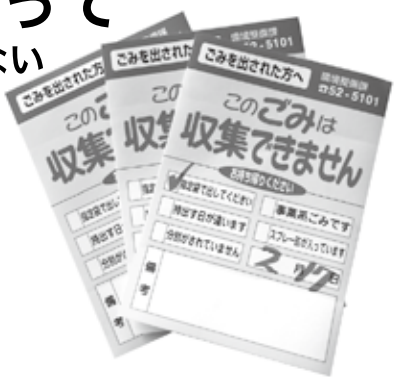
工場からのばい煙排出量の減少に伴い、近年は他市町と比べても遜色のない数値となっています。



おわたけ。ごみ事情 No.7

ごみ出しはルールを守って ごみステーションへのルールを守らない ごみ出しが後を絶ちません

問い合わせ 環境整備課リサイクルセンター ☎5101



ルールが守られていないごみはどうなるのー

ルールが守られていない場合、警告シールを貼って収集しません。

誤ってごみを出された方に持ち帰ってもらうため、しばらくの期間、ごみステーションにそのまま残しておくこととなります。

ただし、もやすごみの場合、カラスや猫などが生ごみなどを散乱させることがあります。ごみステーション周辺の住民に迷惑をかけたり、周囲の美観を損なったりするため、その日の午後、ごみステーションを巡回し、やむを得ず回収しています。

ルールが守られていないごみ出しへの対応はー

ごみの内容物から排出者が判明した場合は、排出者に注意文書を発送して指導します。

また、排出者が判明し、特に悪質なごみ出しの場合には、直接、職員が自宅に向いて厳しく注意しています。

市の条例により、ごみステーションの利用者は、自らの責任で利用するごみステーションを清潔に維持することが義務づけられています。

「ごみ収集カレンダー」をよく読んで、正しくごみを出しましょう。

二酸化硫黄

石油や石炭が燃えると発生します。濃度などの数値が高いほど大気の状態が悪いことを示します。

二酸化窒素

自動車や工場のボイラーなどが発生源です。二酸化硫黄と同様に、数値が高いほど大気の状態が悪いことを示します。

降下ばいじん

大気中の汚染物質のうち、雨などとともに沈降するばい煙（すすや煙）、粉じんその他の不純物を言います。